

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校6年 教科 家庭 など

SKYMENUを活用し、主体的に表現・共有

使用するアプリケーション等
・ Microsoft Forms
・ SKYMENU

単元・題材 こんだてを工夫して ～家族のための思いやりメニュー～

本時の目標 自分が考えた家族のための献立を発表し合い、交流の中で課題を見出し、さまざまな解決方法を考え、課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・ 端末を活用して食事に関する事前アンケートを実施することで、効率的に集計・グラフ化ができ、児童の問題意識を高めることができる。また、教師も集計作業がいらず、児童の実態をすばやくつかむことができる。
- ・ SKYMENUの発表ノート機能を活用し、自分で考えた献立を相手に伝わるように資料を作成することで、書字に苦手意識をもつ児童も意欲的に取り組むことができる。また、画面共有を活用し、効果的に友達と意見交流することができる。
- ・ 自分が考えた献立が友達のアドバイスによってどのように変化したのかを言葉だけではなく、画像や写真をつけて発表することで、聞いてる人により分かりやすく伝えることができる。

DX!

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

- 導入 (事前)** 紙でアンケートを実施し、児童の実態を集計し、模造紙にまとめておく。
 - ①本や資料を活用しながら料理の種類や食材の栄養面を調べ、家族を思いやる献立を考える。
 - ②自分が考えた「家族のための思いやりメニュー」を紙(プリント)に書いておく。
 - ③考えた献立を数名の児童に口頭で発表してもらう。
- 展開**

めあて
家族のための思いやりメニューをレベルアップさせよう!

 - ①自分で考えた献立をグループで発表しあい、レベルアップのためのアドバイスをしあう。
 - 自分が考えた献立を紙(プリント)を見せあいながら交流する。
 - 友達との交流によって、レベルアップしたことを紙(プリント)に記述する。
 - 話合いの中で出た料理や食材の栄養は、グループで協力して本で調べる。
 - ②レベルアップした献立を全体で共有する。
 - グループの話合いによって、どう改善したのかを発表者が画用紙に書き、黒板に貼り、口頭で発表する。

3 まとめ

不足している食品のグループを確認し、食品を加えたり、別のおかずに変えたりして見た目や栄養バランスを整えるとよりよい献立になる。

- ①献立をレベルアップするためのポイントを全体で確認し、まとめる。
- ②振り返りを行う。
 - 振り返りを紙(プリント)に書いたり、教師の質問に対して挙手をさせたりして、本時の振り返りを行う。

DX後 (赤字はICT活用場面)

- 1 導入 (事前)** Microsoft Formsのアンケート機能を活用し、結果を集計・グラフ化しておく。
 - ①一人ひとりが端末を活用し、インターネットを使用して料理の種類や食材の栄養面を調べ、家族を思いやる献立を考える。
 - ②自分が考えた「家族のための思いやりメニュー」をSKYMENUの発表ノートで表現し、友達と共有する準備しておく。
 - ③数名の発表者の発表ノートをスクリーンに映し、全体で画面共有をしながら発表してもらう。

2 展開

めあて
家族のための思いやりメニューをレベルアップさせよう!

- ①自分で考えた献立をグループで発表しあい、レベルアップのためのアドバイスをしあう。
 - SKYMENUの発表ノートを互いに見合い、自分が考えた献立を説明しながら交流する。
 - 友達との交流によって、レベルアップしたことを発表ノートのスライドにまとめる。
 - レベルアップのための情報収集は、インターネットを活用してよいことを伝えておく。
- ②レベルアップした献立を全体で共有する。
 - 発表者の発表ノートをスクリーンに映し、グループの話合いによって、どう献立を改善したのかを全体で画面共有しながら発表する。

↓ 児童が作成した献立 (交流前) ↓ 考えた献立のポイント ↓ 友達との交流によって改善した献立 (交流後)

家族のための思いやり献立を考えよう!

姉のための免疫力アップメニュー

不足している食品のグループを確認し、食品を加えたり、別のおかずに変えたりして見た目や栄養バランスを整えるとよりよい献立になる。

3 まとめ

不足している食品のグループを確認し、食品を加えたり、別のおかずに変えたりして見た目や栄養バランスを整えるとよりよい献立になる。

- ①献立をレベルアップするためのポイントを全体で確認し、まとめる。
- ②振り返りを行う。
 - Microsoft Formsのアンケート機能を活用して振り返りを行い、その場で結果を集計・グラフ化し、自分たちの学びをふり返ることができるようにする。
 - アンケート結果をスクリーンに映し、全体で画面共有しながら振り返りを行う。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ 一人一台タブレット端末があることで、特定の食材を使う料理や食材の栄養面など、自分が調べたいことを効率的に調べることができるので、一人ひとりが意欲的に献立作りに取り組むことができた。
- ・ 事前アンケートや振り返りでICTを活用することで、効率的にアンケートの集計・グラフ化ができた。
- ・ SKYMENUの発表ノート機能を活用し、自分で考えた献立を相手に伝わるように資料を作成することで、児童も意欲的に取り組むことができた。手書きの絵や文字で思考を整理したい児童もいるので、実態に応じてICTと紙をうまく併用していくことが大切である。